

団体名		公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団						
①	指標名	健康づくり出前講座の実施回数			目標値	60回	実績値	70回
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	116.7%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: 回)	32	28	39				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市民グループ等に対する講座を36回、企業・団体への人材バンク紹介事業による講座を14回、はつらつメンバーに対する講座を9回、地域団体との連携・共催講座を6回、市内イベントでの講座を3回、コミュニティ協議会との試行事業の講座を2回実施した。 ②健康づくり推進員は、地域の団体(コミュニティ協議会など)に講座の実施を積極的に働きかけた。 ③市内の企業・団体等へ健康づくり人材バンクを紹介する事業を新たに行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○人材バンク紹介事業の新規実施や地域団体との連携を進めたことで、目標を達成した。 ○健康づくり自主活動グループ立ち上げ支援を目標にコミュニティ協議会との試行事業への取り組みを開始した。地域の特色や要望に沿った支援を健康づくり推進員、健康づくり人材バンク登録者とともに一層推進していく。						
二次評価	地域団体との連携を進め、地域の特色や要望に対応しながら、積極的に事業展開を働きかけた結果が目標値を上回る成果に表れている。引き続き、この取り組みを推進していただきたい。							
②	指標名	自主事業収入			目標値	80,000千円	実績値	76,324千円
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	95.4%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	77,890	79,926	77,435				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①人間ドックは、受診者の自己負担が増えた平成24年1月から受診者の減少が続いていることから、新規受診者を増やすために広報の強化に取り組むとともに、2年前に受診しその後受診していない人(365人)へ受診勧奨を兼ねてアンケート調査を実施した。 ②事業所健診受診者への栄養指導の実施など、健診受診者の健康増進を高める取組を行った。 ③医師会依頼検査についての現状分析を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○事業所健診受診者は前年より50人多い1679人だったが、人間ドック受診者が前年より63人少ない1412人とどまったため、目標は達成できなかった。健診の重要性の広報に努め、受診者増を目指す。 ○医師会依頼検査の依頼目的を分析したところ、健診等での胸部X線異常の精密検査のための胸部CT撮影が最も多かった。地域医療の機能分化が進む中で役割を果たしていく。						
二次評価	人間ドックについては、オプション検査の充実や受診のPRを積極的に行うなど、受診者の増加に努めること。							
③	指標名	研修への参加者の割合			目標値	100%を維持する	実績値	100%
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: %)	46.2	65.2	100.0				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①人間ドックアドバイザーやピンクリボンアドバイザー認定試験(講習)など、健診施設の機能を高める研修や職務に関する講座・講習会に延べ31人が参加した。 ②新規職員への新任研修、昇任者への昇任時研修を実施し5人が受講した。 ③上級救命救急講習を9人が受講した。 ④市や関連団体との合同研修等に参加させ、財政援助出資団体職員としての自覚を高めるよう努めた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○嘱託職員を含む全職員が上記のいずれかの研修に1回以上参加したことにより、目標を達成した。また、研修内容等を職員全体会で伝達し、成果を共有するよう努めている。今後も、職務関連研修だけでなく、上級救命講習の受講を継続するとともに、市・関連団体が行う研修会や各種検討委員会に積極的に職員を参加させ、人材育成に取り組む。						
二次評価	固有職員の資質向上及び市と連携した事業展開を図るという観点からも、引き続き研修への積極的な参加を促し、市健康福祉部や外部関連団体などとの人事交流に取り組んでいただきたい。							